

## <資料 2> 里子の中にみる「虐待の影」

### 虐待された子どもの中にある怒りと不安、トラウマ、脅威、防衛、いらだち、欲求、自己否定

#### <はじめに>

社会的養護の諸システムの中で、里親に養育を委託される子どもたち(里子)の多くは、実親からの虐待(ネグレクトを含む)や死別という過酷な運命に出会った子どもたちである。

本調査の結果をみると、多くの里親は里子養育の困難さを感じており、里子の 33.3%について「育てるのが、ひどく難しい子」と言っており、「ふつう位に難しい子」の 40.3%を合わせると、里親の 7 割が養育の難しさを訴えている。

育児は、多少とも難しさと負担のかかる過程であるが、本サンプルの大きな困難さの訴えは、その中に虐待を受けた子どもが多数含まれていることによると思われる。里子の 70.3%は、虐待を受けた子であった(表 12)。また表 10 に示したように、里子の 3 分の 2 は乳児院を含む施設から委託されており、施設養育というネガティブな生育環境の影響を多少なりと受けてきており、また 3 分の 1 は実親や親戚等から委託された子どもであるが、それらの家庭にも問題があったと思われる。

#### <目的と方法>

成育歴の中で一般とは違った体験をしてきた子どもたちの心的世界を知ることは、里子への理解と里親支援のために是非とも必要な手続きである。しかし直接、アンケートや面接調査による接近は難しいので、以下では、里親が里子の行動の上と感じとった「虐待による影」(調査票 3 頁 6)の自由記述部分の資料をもとに、その心的世界を推測しようとした。

調査票の中に「里子に、虐待された(つらい思いをした)影のようなものを感じられた方は、どんな時や場面、行動でしたか」という項目を設け、およそ 3×15 センチのスペースが設けられた。そこに、また欄外に書きこまれた自由記述を起こしたのが、以下の資料である。

前章までの量的資料とは違って、小さくとも一種の事例を拾い上げる作業であるので、量的な処理はしなかった。すなわち、同様な内容の記述は省いて、例数は少なくとも、里子の世界や行動の特徴が鮮明に記述されていると思われる 115 個の事例を入力し、構造化して解説した。冒頭の数字はサンプルナンバーで、その前の は、医師によって発達障害と診断された子ども、または調査票に記入された項目からではあるが、それに近いタイプと推定された子どもである(17 事例、全体の 15%)。

注) 事例の理解に役立つような項目の番号をいくつか、それぞれの調査票の中か

ら抜き出して冒頭に記入したので参照されたい。

まず( )内は、現在の年齢と性別、委託時年齢で、その後の数字は、3頁 )

2.「**養育の困難さ**」( 育てるのが、ひどく難しい子 育てるのが、ふつう位に難しい子、 わりと育てやすい子、 とても育てやすい子)であり、次の4つの数字は、5頁 )

(1) 里子のとの「**気持ちの通じ合い**」(1.どうしても、通じ合わない 2.時々通じないと思うことがある 3.わりと、気持ちが通じている 4.とても、気持ちが通じている)

(2) 里子を育てる中で、里母が完全に「**自信を無くしてしまったこと**」があるか (1.わりとそうだった 2.少しそうだった 3.あまりそうでなかった 4.そうでなかった)

(3) **この子は家庭養育より「施設養育の方が向いている」**かもしれないと思ったことがあったか (1.度々思った、2.たまに思った 3.思わなかった)

(4)「**養育の返上**」をしたいと思ったことがあったか (1.何度も真剣に考えた 2.返上したいと言う気持ちになったことも、何度かある 3.返上したい気持ちは、ほとんどなかった 4.全くなかった)を示している。

また、里子が委託されるまでいた環境を、\*で、委託時年齢の後に記した。

なお、 育てるのがひどく難しい子 は、60事例で、全体の53.6%に上る。アンケート調査全体では33.3%なので、虐待の影を感じさせるような特異な里子を預かった里親が、養育に困難を感じ、この欄にる書き綴ったと思われる。とりわけ、「 ) 4.恐怖の再現、トラウマ、現実の脅威 5.不安な睡眠、夜泣き、ひとりで寝られない、やたらに泣く ( ) 1.攻撃と爆発 2.スキンシップを求め、里親から離れない」等の症状を示す事例は、殆どの里親から 「ひどく育てるのが難しい子」とマークされている。

## <構成>

### 里子の中に見る「虐待の影」

#### ) 出会った時の里子の姿

##### - 里親の目に映った行動の偏り

#### 1.しつけ・教育・生活経験の欠乏

#### 2.虐待体験の再現

### ) 里子の棲む「不安と恐怖」の世界

#### - 現実の脅威、記憶による脅威

#### 1.親は怖い・親は嫌い

- 2.人は怖い(里親も)、人避ける(里親も)
- 3.再度、置き去りにされる不安(「見捨てられ不安」)
- 4.恐怖の再現、トラウマ、現実の脅威
- 5.不安な睡眠、夜泣き、ひとりで寝られない、やたらに泣く

) 不安から逃れるために

- 1.攻撃と爆発
- 2.スキンシップを求める、里親から離れない
- 3.心を閉ざす、石になる、話さない、自己抑制(感じない、泣かない)
- 4.防御する、鍵を閉める、閉所に入る、退行する、キャラの世界に入る

) 心のうちと欲求

- 1.漠然としたいらだち
- 2.「何でもいいからほしい、ひとり占めしたい」
- 3.しあわせな子への嫉妬
- 4.「可哀そうだと思ってほしい・助けてほしい」
- 5.「死にたい」、自己否定

) 消えない不安

- 1.人に甘えない、甘えられない、助けを求めない
- 2.濃い人間関係を嫌がる
- 3.スキンシップは嫌い
- 4.活力の低下

) まとめ

<事例>

実親から様々な理由で引き離されて、里親の家庭に委託された子どもたちには、生まれて間もない子もいれば、13才を越えて委託された子もいる。表8によれば、乳児は11.6%と少ないが、4歳までの子が73%とほとんどである。親から引き離された理由は、すでに見たように、親による虐待が7割で、親の死亡が約4割(一部重複)、いずれにせよ悲惨な思いをした子どもたちである。

里親はそうした里子に大きな善意をもって迎え入れる。しかし逆境の中にいた里子たちにとって、里親の家がどんな環境かは全く未知である。委託先の里親の家庭で、里子たちどのように戸惑い、またどんな姿を見せるのか。以下は里親の目に映った里子の心的な世

界の様相である。

### ）出会った時の里子の姿

#### 里親の目に映った行動の偏り

里子を委託された当初、里親が里子の上に見たのは、まず発達の違いと行動の偏りであった。おそらく生育環境の偏り（物的、文化的欠乏）や異常な体験（虐待）がもたらしたものであろう。

### 1.しつけ・教育・生活経験の欠乏

1020（9歳男子）9歳～、3.2.3.2 \*親戚から  
児相が「野性児」と表現する位、何も知らず、教育されていない、しつけがなされていない子でした。

991（12歳8月男子）4歳～、3.3.3.3 \*親戚から  
4歳でもトイレが一切できなかった。おんぶも抱っこもだめ。歩くのもやっと。オウム返ししかしゃべらなかった。

763（16歳4月女子）14歳～、3.4.2.2 \*児童養護施設から  
実親は障害があったので、何もない環境で育ててきたせいか、言葉の使い方を知らず、生活面でも、排泄後の後始末や掃除の仕方など、何もできていなかった。好奇心はあるので、人の物をだまってもっていき、使う。ネコを洗濯機にいれ、まわそうとした。

661（14歳男子）3歳～、2.1.1.1 \*児童養護施設から  
相手の表情が理解できない。こちらが困っているのか、怒っているのか理解できなかった。

58（8歳10月女子）2歳～、2.1.3.2 \*乳児院から  
委託当時、まだおむつもとれない時から「ブラックな人格」を感じていた。不安が強く、自己評価が極端に低い。ネガティブ思考で、被害意識が強い。へそまがり、人がイラっとするような行動を、相手の顔を見つめながら、わざとしたり。先生や友人にも。お店で万引きはしないが、クラスメートの机の引き出しを勝手に開けて、ほしいものを持ってくる。そうであっても当然の環境に育ったので、可哀そうだと思いますが、あえて、不幸へ、不幸へと選択しているような気がします。

996（17歳2月女子）14歳～、3.1.3.1 \*親戚から  
実母が食事をつくらなかったようで、1日1食、給食だけ。偏食が激しく、給食で出ないようなものは、口にすることも見たこともないようだった。信じられなかった。食事の時間を12時、6時と決めていて、用意ができていても、1分前でも口にしない。軽度知的障害で、特別支援学級在籍中である。

990（5歳1月女子）4歳～、2.2.3.4 \*実親の家庭から  
煮物、炒め物を食べない。コンビニ、そうざい物はよく食べる。噛まない。部屋の隅で

姉とじっとしている。

564 (17歳10月女子) 13歳~、 、2.3.3.4 \*実親の家庭から  
言葉が出ない。「いただきます、ごちそうさま」が3年位出なかった。教えても絶対に言わなかった。人前で言葉を出すことに抵抗感があるらしく、自分の部屋でひとりになると、ひとりごとを大声で言っていることがある。誰かがそこにいるみたいに。

## 2.虐待体験の再現

126 (13歳女子) 4歳~、 、3.2.3.3 \*不明  
虐待ごっこの遊びをしたがり、幼稚園の友だちにも「お尻を鞭で叩いて」とお願いしたりした。

092 (8歳5月男子) 4歳~、 、2.1.1.1 \*実親の家庭から  
親の家で、数匹猫を飼っていたようで、食事のしぐさが、猫と同じような食べ方、しぐさをしていた。

219 (10歳11月女子) 9歳~、 、2.2.3.4. \*児童養護施設から  
来てすぐ、横になっていると馬乗りになり、下半身を押しつけるようなことをした。急に顔を近づける、急に手を出す、股を鼻紙で拭く。股を触るなども。

### ）里子の棲む「不安と恐怖」の世界 - 現実の脅威、記憶による脅威

**多くの里子たちを今も支配しているのは、実親の家庭で生活していた当時の種々不幸な体験であろう。様々な実親の姿が、折に触れて里子の心に現れる。彼らは実親を忌避する。里親の家庭のぬくもりが里子の心の傷を回復させるのは、いつになるのか。**

## 1.親は怖い・親は嫌い

731 (7歳5月男子) 5歳~、 、3.2.3.3. \*実親の家庭から  
夜遅くの外出を怖がる。「昔、お母さんはね」と話し、家には絶対帰りたくないと言う。始めのうち「どうせ僕はバカだから」「死んだ方がいい」「死にたい」と言う言葉が多かった。

852 (18歳8月男子) 15歳~、 、1.4.3.4 \*他の里親や親戚から  
「自分には、親はいらない」という。行方不明の父親姓を名乗るのは嫌だ、乳児の時亡くなった母親を恨み、親への思慕の情が皆無。

055 (17歳5月男子) 14歳~、 、2.2.3.2 \*他の里親や親戚から  
イライラすると「実親と里親さんに2度も捨てられた者の気持ちはわからんやろ」とわめき、「家族でもないのに口を出すな」と腹を立て、言い返してくる。人の見ていない所で、孫をいじめる。

792 (15歳女子) 3歳~、 、1.1.1.2 \*児童養護施設から  
(乳児院に生後3週間で入れられ、こちらからは実親のことは何も話していないのに) 小学校1,2年の頃、「大人のくせに子どもを捨てるなんて最低だ」と口走ったことがありました。

900 (13歳11月女子) 13歳から8カ月間 、4.3.3.4 \*不明  
とにかく、実母の連れ合い(養父)を嫌う。死ねばいいのにと言う。

226 (15歳10月女子) 7歳~、 、3.1.3.3 \*実親の家庭から  
2度目の母による虐待とのことでしたが、そうされても仕方がないなあという場面も、よくありました。大きくなって、2度目の母に会う時もビビっている感じでした。

559 (4歳10月男子) 1歳~、 、2.2.2.2. \*児童養護施設から  
実母が面会に来ると、毎回「怖い!」と泣きだして逃げ出す。普通の会話の時も、実母のことが出ると、泣くこともある。

## 2.人は怖い(里親も) 人を避ける(里親も)

**そうした実親との不幸な体験は、実親へのネガティブな感情にとどまらず、しばしば一般に対する感情、すなわち「人間観」に影響を及ぼす。生きるとは、様々な人の間で生活していくことである。彼らは、いわば怖いもの、苦手なもの一杯の世界の中で、日々暮らしている。**

275 (16歳11月女子) 15歳~、 、2.2.2.2 \*実親の家庭から  
音に敏感。他人とすれ違う時に、できるだけ離れたがる。

901 (8歳5月) 3歳~、 、4.4.3.4 \*乳児院から  
子供向けのテレビ番組でも、(例えばバイキンマンが登場する場面など) 暗い場面が出てくると、とても怖がる。8歳の今もトイレに1人で行けない。

859 (9歳4月女子) 7歳~、 、2.2.2.2 \*実親の家庭から  
大人の顔色をうかがう。部屋に入らずに、戸のかげからそーっと中をうかがう。

861 (5歳3月女子) 4歳~、 、2.2.1.1 \*実親の家庭から  
裏表があり過ぎる。大人の行動を気にして、とくに視線を気にしている。叱ると「怖い、怖い」と泣く。(沢山あり過ぎて書ききれない) 7~12が全て1

12 (4歳9月男子) 3歳~1、 、1.2.2 \*実親の家庭から  
少々口調を強くすると、目をぱちぱちさせたり、手を握ると「痛い、放せ」とあばれたり、近づくと逃げようとする。

111 (5歳7月男子) 3歳~、 、2.1.3.3 \*乳児院から  
初めてのことに固まる(5歳の今でも時々)。来て半年ほど、何かと頭やおなかをかばうしぐさをした。時々、鋭い目をする。半年ほどは、上手に泣けなかった。

114 (12歳男子) 10カ月になる。、1.2.2.3 \*実親の家庭から  
しゃべらない。大人を信じていないのか、自分より年少の子どもだけに話することができる。  
発達障害か。ほとんど1

339 (19歳2月女子) 15歳~、、2.2.3.4 \*他の里親や親戚から  
家族で銭湯や温泉に入る時、他の里子(3人)や里親とは離れている。階段の上り下りには、  
自分の後ろに人がいると、極端に嫌がったり、怖がったりする。

422 (16歳11月) 15歳女子。、2.4.3.4 \*他の里親や親戚から  
1日中寝ていることがある。定時制高校から帰る途中、里親と一緒に帰ろうとしない。いつ  
の間にか後ろにいる。暗いのに、明りがあるからと本を読みながら歩く。

382 (10歳男子) 8歳~、、2.3.3.4 \*実親の家庭から  
知らない人の前に出ると、大きな声を出して耳をふさぐ、人の顔を見ようとしな  
い。ハサミで、数字の形をずっと切っている。泣いている子をみると耳をふさぎ、固まる。身  
を隠す。身体に触られるのを嫌がる。

### 3.再度、置き去りにされる不安(「見捨てられ不安」)

**(親の死も含めて) 様々な形で実親から引き離された里子たち。新しい環境で、里親への  
愛着の形成が出来始めている日々にあっても、彼らの脳裏には、この里親からもまた同じ  
目に合わされるのではないかと不安がよぎるのかもしれない。「見捨てられ不安」の存在  
は、2者関係でも3者関係の中でも、人を強く支配するメカニズムであり、ときに病理の  
1つともなる。**

344 (7歳1月女子) 5歳~ (妹と) 、2.2.3.4 \*実親の家庭から  
来た当時、ほんの少しの時間でも、妹と2人で留守番するのを、ひどく嫌がった。

775 (9歳11月男子) 8歳から、、2.4.3.3 \*7からの指標全部が1、実親の家庭か  
ら  
里母と川遊びをしていて、里母が足を滑らせてこけたら、「死なんといて、死んだらいやや  
ねん」と叫んで泣くんだ。母親が6歳で亡くなり、チンした食品やコンビニ弁当を食べて  
いたようで、家庭料理を喜ばず、コンビニ弁当を好んだ。

199 (14歳4月男子) 2歳~、、4.3.3.4 \*乳児院から  
ベランダに出て洗濯物を干す間も、敷居一本隔てた部屋にいられず、おんぶして(里母の  
首にしがみついて)いなければならなかった。そうでないと大泣きした。14歳の今でも、  
外と一緒に歩くときは、腕につかまってくる。家でも、里母の姿が見えないと、時々呼ん  
で、里母がいることを確かめる。里母が出かけることを異常に嫌がった。「母ちゃん行かな  
いで、いっちゃダメ」という。今でも時々言う。

#### 4.恐怖の再現、トラウマ、現実の脅威

そうした漠然とした不安は、時に鮮明に記憶の中に再現され、恐怖の感情やトラウマとして里子の上に襲いかかる。

980 (6歳5月)4歳~、 、2.3.3.4 \*実親の家から  
3歳半の時に受けた虐待を今も、昨日のここのように鮮明に話す。時に「包丁を持って仕返しに行きたい」と言う。

771 (12歳4月男子)0歳~、 、4.1.3.4 \*乳児院から  
「ボクはお母さんのおなかの中にいた時、毎日親が喧嘩している声を聞いた。『早く外に出ろ』とお母さんは言ったから、ボクは早く生まれてきたのに、迎えに来てくれなかった」と3歳位の時に言った。よく泣き、暴れる子どもでした。

621 (10歳2月女子)9歳~、 、3.3.3.4 \*実親の家庭から  
突然、「痛い!」「かゆい!」「寒い!」と長時間泣き叫ぶ。今は無くなってきている。父親からの暴力を話すことがある。

665 (12歳8月女子)6歳~、 、2.1.2.1 \*実親の家庭から  
トイレに入るのを怖がる(常にトイレの中で生活していたとのこと)。食事の時に何度も「食べていいの?」と聞いてくる。

725 (17歳10月男子)16歳~、 、3.2.3.2 \*実親の家庭から  
肩が軽く触れるような場合にでも、「ごめん」の言葉が使えないので、ご・め・ん・と練習させた。ごめんと言う言葉に、恐怖心すら感じていた様子。いつも、あやまっていたのだろう。

79 (20歳7月女子)9歳~、 、2.1.1.1 -3がすべて1 \*児童養護施設から  
親から腐った食べ物を1週間食べさせられた、夜中に起こされてコンビニに買い物に行かされたなどを、テレビを見ている時や食事中に突然、「思い出した、むかついた」と次々怒り出し、はき出し、一通り言い終わると静まる。外出先でも、思い出すと突然怒り出す。同じ話を何十回、何百回と繰り返す。

82 (12歳2月男子)4歳~、 、1.1.3.2 \*実親の家庭から  
風呂で下を向いて洗髪ができなかった。頭の上に手が見えただけで、頭を手でかばった。

107 (10歳8月男子)3歳~、 、2.2.3.4 \*実親の家庭から  
眠る時、4つん這いで寝る。里母の首を6カ月ほど絞め続けた。首に何か巻いたり、首に襟がかかると嫌がる。

137 (10歳11月男子)来て11カ月。 、3.1.3.2 \*実親の家庭、80歳の祖父母の家庭から  
わざと人をイライラさせる。すぐどこかに隠れてしまう。何も言わなくなる。当たりまえのしつけをバカにして、無視し、里親に従わない。時々玄關に寝かされたとか、首を絞められそうになったと話す。

580 (5歳11月女子) 2歳~、 、3.3.3.4 \*実親の家庭から  
寝言で「痛い痛い!」と大泣きをし始め、その後で「ママ、行かないで!」と絶叫し、パニックになる。何度も同じようなことがあり、夜泣きが多かったが、3年経った今は無くなった。

## 5.不安な睡眠、夜泣き、ひとりで寝られない、やたらに泣く

**こうした不安や恐怖が、睡眠の際に現れる。多くの子どもに、睡眠の不安定さが顕著である。**

104 (7歳6月男子) 6歳~、 、3.4.3.3、\*5歳まで乳児院 他の里親から  
電気を消すと怯えた。天井のしみを見て、怖いと言った。怖い夢の話をして山にした。周囲に目だけが山ある。周りに指だけが山あって、指さす。

106 (13歳3月男子) 5歳~、 、3.2.2.2 \*児童養護施設から  
13歳の今でもひとりで寝られない。

122 (17歳10月女子) 11歳~、 、4.2.3.4 \*児童養護施設から  
最初の2年半ほど、毎晩のように、夜中に泣いていた。夜中に家を出て外で泣くこともあり、一緒に2.3時間過ごすこともあった。中学生の間は、里母が添い寝をした。

142 (8歳10月男子) 5歳~、 、4.3.3.4 \*実親の家庭から  
座るときはいつも正座で、食事の始まりはいつも「いただきます」と、返事が返ってくるまで何度も言う。「全部食べていいの」と聞くことも多かった。眠ることを嫌がって、夜中に眼を覚ますと里母を起こすことも多かった。時々寝言で「やめて、痛い」と言うことがあった。

239 (4歳11月) 0歳~、 、3.1.3.2 \*実親の家庭から  
表情が暗かった。乳児期はなかなか眠りにつけず、よく泣いていた。ミルクもあまり飲めなかった。今はだんだん食べるようになり、安心。

195 (9歳4月女子) 3歳~、 、2.1.1.1 \*児童養護施設から  
寝ていてうなされる。食事に興味がない。ゴミが好き。

## 不安から逃がれるために

**こうした不安や時には恐怖の対象から逃れるために、里子たちは様々な方法を試みる。外に向けて激しい攻撃の形をとることや、逆にスキンシップを強く求めたり、甘えや退行、また自分を閉ざして石になり、何も感じないでいようとしたり、場から逃げ出そうとすることもある。**

### 1.攻撃と爆発

359 (14歳男子) 4歳~、 、2.3.3.4 \*実親の家庭から

おもちゃをすぐに分解し、組み立てることをしない。人形の首をチョンパする。友人と交  
わるのが苦手で、特に女子と仲良くできない。自分では意識していないが、女子をいじ  
めてしまう。

509 (11歳5月女子) 5歳~、 、3.3.3.4 \*児童養護施設から

来た時は5歳でしたが、何事にも否定的で、ぬいぐるみを与えても足で踏みつけ、言葉で  
「フンジャ、フンジャ」と力を入れて踏んでいました。家族で大きな公園に行った時に、  
片足がカクン、カクンと力が抜けてしまい、そのまま地べたにあおむけに寝てしまって、  
びっくりしました。ベランダから物を投げたりはしょっちゅうで、ジュ タンの下に物を  
隠したり、爪を黒マジックで塗ったり、壁やふすまに落書きしたり、選挙ポスターに火を  
つけたり、高尾山の山中で、幼稚園の帽子を飛ばしたり、家やスーパーで勝手にどこかへ  
走って行ってしまって、探してばかりいました。

342 (16歳3月女子) 15歳~、 (毎日と添え書き) 2.2.1.1 \*ADHD、アスペルが  
と診断されている。赤ン坊のときネグレクトされる。 \*実親の家庭から

先生、友人に、「死ね」など暴力的な言葉を使うので、皆が耐えられない。洗濯機を夜中も  
回すので、うるさくて眠らない。トイレや家のドアを、家が壊れそうな位強く閉める。夜  
中に、クローゼットの戸をわざとボタンボタンと音を立てる。目つきが凄く、怖い人相に  
なる。学校に化粧をしていくが、化粧を仮面のように濃くする。指図されるのが大嫌いで、  
「むかつくんだよ」と近所に聞こえるぐらいの大声で言う。

250 (10歳8月男子) 1歳~、 、4.2.2.2 \*実親の家庭から

虐待は別にして、ADHDその他で多動、攻撃性がすさまじかった。かみつきの押し倒し、  
ものを投げつける、走り回っていた。小2のとききょうだいの里子が入って来たが、とく  
に3歳の兄にいじわるがひどかった。命令口調、見えないところでのいじめ、言うことを  
きかないと、部屋に閉じ込めて出さない。トイレに閉じ込める。パンチ。2年の夏休みが  
一番ひどかった。すぐキレるが、でも相手の気持ちのわかる優しい子です。

866 (12歳5月男子) 11歳~8カ月間 、1.2.3.4 \*乳児院・児童養護施設 他の里  
親家庭から

大人には一見素直に応じるが、その場しのぎのことが多く、約束事や継続的なことができ  
ない。周囲に目が向かず、弱い者や小さい者には強気に出る。ゴミだらけの部屋にして、  
散らかり放題。

227 (13歳6月女子) 8歳~、 、3.2.3.4 \*実親の家庭から

理由もないのに、一言声をかけると剃刀のように怒りをぶつけてくる。暴言、乱暴な行為  
に、ハラハラドキドキの毎日。頭を壁にぶついたり、階段から何度も飛び降りたり、物を  
投げる、足踏みをドンドンとする。家や学校で人のものを盗る。家では財布からお金を抜  
くなど。

## 2.スキンシップを求める、里親から離れない

233 (13歳2月女子)9歳~、 、3.3.3.4 \*実親の家庭から  
委託当初、褒めようとするのが嫌だった。「私を褒めないで、ふつうにしといて」と言ったのには驚かされた。3年生から6年生頃迄は)膝に座る、おんぶしてと毎日のようにせがまれました。中学からはお風呂に一緒に入ろうといわれます。

152 (6歳1月女子)2歳~、 、2.2.3.4 \*乳児院から  
とてもスキンシップを求め、知らない人にも警戒心が無いので心配でした。

450 (4歳女子)0歳~、 、3.1.3.2 \*他の里親や親戚から  
大きな声に反応する。4歳まで、里親と離れると大泣きが続く。

444 (5歳8月)2歳~、 、4.4.3.4 \*乳児院から  
里父にべったりで、ひとりを嫌がる。

328 (4歳1月男子)0歳~、 、3.1.1.1 \*生後7日で乳児院に。発達障害  
1人になることを、極端に怖がる。1メートル離れただけで怖いと言うことがあり、びっくりした。沢山人のいるところでは、安心して遊べる。発達障害の知識がなくて受け入れた。今はだいぶ穏やかな子になったが。

842 (13歳4月)9歳~、 、2.1.1.2 \*実親の家庭から  
9才になったのに、里母に24時間べったり。入浴も就寝も一緒でないと我慢できない。自分本位で、反抗的。祖父、父の死亡の経験に哀悼の言葉を発したことが無い。ADHDでリタリンを処方されている。

## 3.心を閉ざす、石になる、話さない、自己抑制(感じない、泣かない)

1015 (9歳8月女子)4歳~、 、3.4.3.4 \*児童養護施設から  
ブランコから落ちて泣かない子でした。

1012 (8歳8月男子)7歳~、 、3.2.3.4 \*乳児院、養護施設から  
泣かない、痛がらない子でした。大きな声や暗いところに拒否反応をする。固まると何時間でもその場にいる。 \*特別支援学級在籍 オール1

1006 (3歳4月女子)2歳~、 、3.2.3.2 \*乳児院から  
泣きもせず、笑いもせず、怒りもせず、無表情で、感情表現がうまくできず、これで子どもなのかと思った。子ども同士で遊んでいて、おもちゃをとられても、全く執着せず、物事にこだわりが無かった

476 (5歳6月男子)4歳~、 、3.2.3.3 \*児童養護施設から  
声を出さずに泣く。涙だけ流す。

492 (4歳5月男子)3歳~、 、2.4.3.4 \*他の里親や親戚から  
声を上げて泣かない。困った時には作り笑いをする、聞こえないふりをする。

012 (5歳6月男子) 0歳~、 、4.2.3.4 \*実親の家庭から  
1歳過ぎた頃、夜中に寝ながら怒りだし、手や足をバタバタして手がつけられないことが、  
1か月位続いた。3歳位の時も夜中に静かに起き出して正座し、声を上げずに涙を流していた。これも1か月間ほど。

134 (20歳女子) 16歳~、 、2.2.3.1 \*実親の家庭から  
人を信用していないようだ。

1010 (9歳6月男子) 6歳~、 、2.2.3.4 \*実親の家庭から  
楽しいことをしようと、ほしいものを買ってあげようとか言う、「嘘だ」と否定して、  
言うことをきかない。

357 (16歳女子) 6歳~、 、1.1.1.1 \*他の里親や親戚から  
学校から帰っても、部屋に籠って出てこない。普通に話ができない。初潮になっても言わ  
なかったので、いつなったかわからなかった。

874 (6歳10月女子) 3歳~、 、1.1.1.1 9から12がall 1 \*乳児院・児童養護施設  
から  
話しかけようとするとうまってしまう、話ができず、叱られるようなことをした時に注意  
されると「嫌」といって大泣きする。里父とは交流ができているが、その他の家族とは話  
をすることができていない。気に入らないと、知らぬ顔、舌打ち、足をバタバタさせたり、  
「バカ」「もう」などと言ってあばれる。人から勧められて里親になった。

376 (9歳1月女子) 1歳~、 、4.3.3.4 \*他の里親や親戚から  
笑顔が無い、笑い顔がヘン。

438 (7歳2月男子) 6歳~、 、1.2.1.2 \*児童養護施設から  
言語、常識等が無知で、会話が成立しにくい。「お父さんに言うの?」とよく言っている。  
泣く時、最初の頃は涙だけ流し、声が出なかったが、数カ月後には、パニックのように泣  
き叫んだりするようになった。

929 (13歳1月) 8歳~、 、2.2.2.1 \*実親の家庭・一時保護所から  
食事中、「トイレに行く」と言って席を立ったまま、戻ってこない。心を閉ざし、隠れ  
る(幽霊のように)。下校時、迎えに来ている里母から隠れ、勝手に帰る。

629 (5歳7月男子) 2歳~、 、2.1.1.1. \*乳児院から  
泣き声を自分で止めようと、タオルを自分で口に入れた。(親からのしうち?)

637 (14歳7月) 12歳~、 、0.2.3.4 \*実親の家庭から  
過去の話しをすると「そのような話はしないでくれ」と言われ、本人は過去の話しを一切  
しない。家ではプライベートなことは極力話をしない。殆ど本人とは会話をしない(大人  
が苦手)

350 (8歳男子) 3歳~、 、1.1.3.2 \*他の里親や親戚の家から  
同年齢の子の半分の体格。押し入れや暗いところに閉じこもる。叱ると、周りの物を投げ  
ちらす。

#### 4.防備する、鍵を閉める、閉所に入る、退行する、キャラの世界に入る

662 (16歳8月男子) 12歳~、0、3.2.0.2 \*児童養護施設から  
不審者が来ると言って、常に武器(おもちゃの刀や剣)を離さなかった。夜寝る時も枕元に必ず武器を置いて寝た。

347 (9歳2月男子) 、2、2.1.2.4 \*実親の家庭から  
帰ったら、玄関の鍵を必ずすぐ閉める。

350 (8歳男子) 3歳~、 、1.1.3.2 \*他の親戚から  
同年齢の子の半分位の体格。押し入れや暗いところに閉じこもる。叱ると、周りの物を投げ散らす。

327 (7歳8月男子) 1歳~、 、4.4.3.4 \*他の里親から  
ネコのようにまるまって寝る。50センチ離れただけで、泣いてばかりいた。小2の今でも指しゃぶり。

184 (10歳1月男子) 5歳~、 、3.2.3.2 \*児童養護施設から  
委託当時は、胎児のような格好で寝ていた。手をすくめ、足をすくめ、頭を丸くしていたので、びっくりしました。その後だんだん大の字になって寝るようになりました。でもその後時々、胎児のような格好をしました。服を着替えさせるために手伝おうとすると、大きな声で嫌がり、泣くし、お風呂に入るために服を脱がそうとしても、嫌がって泣き叫ぶので困りました。

251 (12歳2月男子) 9歳~、 、2.3.3.4 \*実親の家庭から  
常にキャラクターの世界にいて、セリフを言っている。自分の意に添わない時は「死ね」「殺すぞ」と言う。常に人の顔、そして行動を見て、自分は何もせずに、その場にじっとしている。

### )心のうちと欲求

過去からの心の傷を負いながら、不安と恐怖の世界の中にいる里子たち。その不安から逃れようとする手立ては様々だが、それらから十分に逃れるすべは容易には手に入らない。里子たちは、漠然とした苛立ちの中にある。自分のほしいものは何でも手に入れたいと思う。外で、母親と一緒にいる幸せそうな幼児をみると、腹を立てる。自分を可哀そうだと思ってほしい、助けてほしい、とも思うが、それを言い出せない。人に甘えたいと思っても、甘えられない、助けを求められない。自分を自己否定し、時には「死にたい」と言ってみたりする。結果として、無気力や活力のなさに支配されている子もいる。

#### 1.漠然としたいらだち

658 (4歳1月女子) 2歳~、 、 3.3.3.3 \*他の里親や親戚から  
言葉遣いが悪く、いつも怒り顔して尖っていた。外に遊びに行くと、お友だちのお母さんに懐く。

123 (10歳10月女子) 5歳~、 、 3.3.3.4 \*児童養護施設から  
幼稚園年長組で預ったが、すぐに「無視しないでよ」といった。無視という言葉を知っていたことに驚いた。

053 (7歳3月女子) 4歳~、 、 2.2.2.4 \*児童養護施設から  
里親だけにだが、些細なことで、激しい感情表現をする。大体が夜寝る前。3~4歳の頃は、全身が赤黒くなるまで怒っていて、自分の髪の毛をむしったり、里母の股の匂いをかいだりした。5~7歳の現在は、里母の胸にやたらに触りたがる。癩癩はほぼ毎晩で、全身が硬直し、足先やふくらはぎがこむら返りようになり、痛みがある。里親が嫌がることに、固執しやすく、自分でもいけないと思っても、やめられない。

426 (13歳女子) 9歳~、 、 1.1.1.1 \*不明  
一時保護所ではとてもいい子で委託されたが、来て1週間目から怒りの爆発が起こり、慰められるのもいや、放って置かれるのもいや、落ち着きがなく、いつも不安定で、学校へ行くのも大変。眠りも浅く、夢見が悪い。新しいことに取り組んだり、環境に適応するのも大変で、何かと家では大騒ぎ。中学になると「しあわせな奴らに何が分かるか！」と怒り、最後はハサミや剃刀をもって、自傷に走る。しかし学校では絶対にいい子で、ぼろを出さないで、皆に信頼されている。里父は無視の対象です。(片方の親がうつ病)

802 (5歳2月女子) 2歳~、 、 3.1.3.2 7~12が全て1 \*実親の家庭から  
ほぼ毎日、どこKがいたいと言うが、見ても分からず、毎日場所が変わる。米を計量カップで何度も床にぶちまけた、歯磨き粉の中身を全部出してしまった。絵本を何ページも破いて嬉しそうに見せに来た。布団カバーを切り抜いた。あまのじゃく。おむつやパンツ内に排泄したのに、かえたがらず、手を入れて、排せつ物に触る。

## 2. 「何でもいいからほしい、ひとり占めしたい」

202 (16歳10月女子) 6歳~、 、 4.3.3.4 \*不明  
絶えずおなかがすいているようで、冷蔵庫の前から離れなかった。

196 (15歳男子) 14歳~、 、 3.2.3.3 \*児童養護施設から  
1週間、食事の時にはまず、おかずを1人で抱え込み、確保した。

433 (19歳5月) 11歳~、 、 3.1.3.3 7 \*児童養護施設から  
食事について、強いこだわりがあった。日常生活のしつけや手伝いも、何もできなかった。自分のものを買ってほしくて、「買って、買って」と、毎日しつこく言っていた。それ迄、

食べさせてもらえず、自分のものを買ってもらっていなかったように感じた。

802(5歳2月女子)2歳~、 、3.1.3.2(7~12全て1) \*実親の家庭から  
欲望が果てしない。会話、絵本、テレビ、等の内容を、すべて食べたい、したい等につな  
げてしまう。すぐかなわないと、獣のように泣き続ける。泣いているうちに、新しい要求  
に次々とかわって行く。解決できることはしてあげるが、何も聞こうとしない。言葉をリ  
ピ-トしてかぶせてくる。一旦火がつくと、もがいて抱っこもできない。そのうち寝そべ  
って暴れ、ひとりで、床をドンドンと大きな音を立てて蹴り続けながら、いやだ、いやだ  
と、私の目を凝視しながら、さらに大きな声で泣きわめく。

702(11歳11月女子)4歳~、 、2.1.2.2.

不都合なものは隠す。幼い頃は、尿や便のついたパンツを隠す。学童期は、お菓子を盗み  
食べして、包装紙を隠す。菓子など、現在も自分だけで食べ、他の家族に分けようとしない。

353(16歳7月女子)9歳~、 、2.2.2.4 \*DVにより母死亡、実親の家庭から  
他の里子に攻撃的で、里母の独占欲が強い。人を許せない。人に完ぺきを求める。中学か  
ら、ひきこもり、うつ、登校拒否で、病院とカウンセラーに通っている。

### 3.しあわせな子への嫉妬

317(6歳8月女子)3歳~、 、2.2.3.4 \*乳児院、児童養護施設から  
外出先で、親子連れ(赤ん坊を抱っこ、ベビーカーにのせている)を見ると、凝視。固ま  
っていた。現在は気にならなくなっている様子。

830(9歳11月男子)2歳~、 、3.1.2.2 \*乳児院から  
(妊娠中のシンナー吸引がどれほどのことかわからないが)発達障害と情緒不安定がある。  
自分は決して先に寝ない。里父母が本当に眠ってからでないと寝なかった。幼稚園の時、  
他の園児が母親と話すのを見ると、手がつけられないほど怒って、言うことを聞かなか  
った。

### 4.「可哀そうだと思ってほしい・助けてほしい」

757(7歳6月女子)2歳~、 、3.1.3.2 \*乳児院から  
委託されて2か月は無表情、無反応。その後優しくしてくれた人には誰にでもついて行く。  
店に入ると店員に「助けて!」と泣きながら抱きつくなど。

611(12歳女子)9歳~、 、1.1.1.1 \*乳児院・児童養護施設から  
里父から暴力を受けたと嘘をつく。嘘がバレると「可哀そうに思われたかったから」とい  
う。サンタからプレゼントをもらって喜んでいる園児に、園長が用意しものだと話す。近  
所の友人宅や担任に、里父母からの本当でないことを種々話し、同情を買おうとする(こ

れはほんの一部です)

351 (12歳7月女子) 8歳~、 、3.3.3.4 \*実親の家庭から  
食事を動物のようにがつついて食べた。眠る前に、不安、孤独を感じていたのか、1人で中々寝られなかったし、性器いじりがやめられなかった。自分が思うようにいかないと、自分のベッドになわとびの縄をかけて、自殺の真似をして気を引こうとした。

510 (14歳5月女子) 6歳~、 、1.2.2.2. \*児童養護施設から  
多数の人が集まっているところで、里母を指差して、「この人は、何もくれない」「お菓子もくれない」と言って大騒ぎする。

621 (10歳2月女子) 9歳~、 、3.3.3.4 \*実親の家庭から  
突然、「いたい!」「かゆい!」「さむい!」と長時間泣き叫ぶ。今はなくなっている。父親から受けた暴力を話すことがある。

## 5. 「死にたい」、自己否定

325 (17歳4月女子) 15歳~、 、2.3.3.2 \*乳児院から児童養護施設に、15歳で実親家庭に戻り、2ヵ月半で再度不調。

普通に見えるときでも「早く死にたい」「殺して」と度々言う。人とのコミュニケーションを極度に恐れていて、相手は本人のことを気にしていないのに、攻撃的な言葉や顔つきをする。里母にも。

449 (15歳男子) 6歳~、 、3.2.3.3 \*実親の家庭から  
里親が叱った時ほど、自分の存在を否定する言葉が聞かれる。

436 (9歳11ヵ月男子) 1歳~、 、3.1.3.3 \*乳児院から  
自分を大切にしない。眠くなった時、床に額を打ち付ける。

### ) 消えない不安

しかし、人生の初期に人との関係から生まれた不安を取り去ることは容易ではなく、心の奥にしばしば残り続ける。自分を閉ざし、人とかがわるより、1人の世界で安定するかのようである。しかし、それが本当に魂の平穩かどうか。活力を喪失した状態の子どももいる。

## 1. 人に甘えない、甘えられない、助けを求めない

718 (16歳11月女子) 11歳~、 、1.2.3.2 \*実親の家庭から  
困った時に、助けを求めない。

831 (4歳4月男子) 2歳~、 、4.1.3.2 \*乳児院から  
来た当時、誰の添い寝も嫌がり、自分の足をもって寝た。自分で何でも解決しようとする。痛い時など、遠くへ走って行ってしまふ。里親に寄ってこない。真実告知をした時は、4歳なのに「全部知っているから、もう言わないで」と言われた。

361 (16歳10月女子)4歳~、 、2.3.3.4 \*一時保護所、里親、保護所、児童養護施設から

甘えることを知らず、ほしいものがあったても、じっと見ているだけ。4歳児で3カ所をまわってきたので、抱きつく姿もなく、抱っこしようとする、すーと離れてしまう。

424 (4歳11月)3歳~、 、0.2.3.3 (7から12すべて1) \*乳児院から  
大人にはとても媚びるが、素直に甘えることができない。甘え方がわからない。

410 (16歳4月)10歳~、 、2.2.3.2 \*児童養護施設から  
人に対して甘え方を知らない。表情が無い。

## 2.濃い人間関係を嫌がる

243 (9歳5月)3歳~、 、4.2.3.2 \*乳児院から  
知らない人、その場だけの優しい人について行く、そして離れなくなる。家族など、濃い人間関係を嫌がる。周囲の人の様子や機嫌を伺う。

313 (5歳1月女子)4歳~、 、3.2.3.4 \*乳児院から  
ふとした時に、凄く暗い表情をする。同い年の幼児と遊ばず、幼稚園でも1人遊んでいた。親、兄弟と言う関係が分からないようで、男だとパパと呼ぶ。

## 3.スキンシップは嫌い

001 (9歳4月男子)8歳~、 、3.2.3.3 \*養護施設から  
スキンシップを極端に嫌い、頭をなでたり、肩を叩いたりしただけで、怒鳴りちらしたり、なぐりかかってきた。

141 (1歳2月男子)0歳~、 、3.3.3.4 \*乳児院から  
抱っこを嫌がって、体をそらせる。体に触れられるのを嫌がる。とくに就寝時、体にさわられるのを嫌がる

150 (9歳4月男子)8歳~、 、2.3.3.3 \*乳児院・児童養護施設から  
スキンシップを極端に嫌い、頭をなでたり肩を叩いたりすると、怒鳴りちらし、殴りかかってくる。

## 4.活力の低下

127 (16歳11月)13歳~、 、2.2.2.4 \*実親の家庭から  
寂しい目をしている。

005 (16歳3月男子)15歳~8カ月、 、3.2.2.3 \*不明  
とても暗い、地の底に沈むような眼。気力が無く何も見ていないような眼。夢遊病者のように日々の行動をこなしている。

448 (13歳女子)2歳~、 、4.4.3.4 \*児相から

口数が少なく、元気がなく、ボーっとしている感じだった。2歳にしては、あまり、走ったりができなかった。

249 (15歳6月女子) 9歳～、 、4.2.3.1 \*実親・親戚等から  
虚言癖があり、退廃的で、今がよければいい、みたいな考え方をする。大人をなめているような態度。

337 (7歳7月女子) 5歳～、ファミリーホーム。 、2.1.1.1.  
ぶつぶつひとりごと。部屋中、または自分の体中、マジックで塗りつぶす。

## **.まとめ**

### **1)「自分は大切にされていない」**

里親の目に映った里子たちの姿は様々だが、どの記述を見ても、世界における彼らの「寄る辺のなさ」を見る思いがする。この世に生を受けた時、子どもがまず目にするのは、愛と溢れるばかりの笑顔で自分をとり囲む人々の姿であろう。どの子ども、自分が世界の中心に置かれ、世界を安全なもの、自分にとって好意的なものと感じながら、人生をスタートさせていく。しかし、このデータに見る里子の姿は、そうした一般の子どもの姿とあまりにもかけ離れている。里子たちは、怖いもの一杯の世界に突然投げ出され、「自分が大切にされていない」と感じているかのようなようである。

### **2) 家庭養育か、施設養育か**

人生のスタート地点で、里子たちが受けた心の傷の深刻さと、その人間観、世界観に及ぼすネガティブな影響から彼らを回復させる力を持つのは、専門家のいる施設養育だろうか、素朴な里親のいる家庭養育だろうか。人生の途中で形成したトラウマの治療とは違って、こうした人生初期の体験から受けるダメージのあまりの深刻さを思わせる記述を目にすると、もっぱらその回復は、24時間里子にインテンシブに寄りそう「里親」の力ではないかと、このデータを見て思う。ケースごとには、里子たちそれぞれのレジリエンス(立ち直り力)には差もあり、受けたダメージにも差があると思われるが、いずれにせよ、今後、エビデンスが問われる問題であろう。

里親の家庭に移されて時間を経ても、里子がしばしば、いまだに過去の亡霊に追いかけられているかのような姿を見せるのは痛々しい限りである。こうした事例を前にして、臨床家たちは、大きな善意と溢れるばかりの愛情をもって里子たちを受け入れようとしている里親たちの温かさこそが、どんな専門家の療育にも勝るものではないかと思うのではなかろうか。

そして、こうした里子の中にある心の世界を理解し、その里子に寄り添いながら、共に長い旅をすることは、里親が自ら選択した道である。よき同伴者を得て、それぞれの里子たちの行く手に1日でも早く、明るく大きな世界が開けることを願わずにはいられない。